

教育センターだより

第429号

令和2年2月14日発行
 福岡市教育センター
 (授業力向上支援センター)
 TEL 822-2875
 発行者 梶原由紀子
 編集者 中村 智和

福岡 TSUNAGARU Cloud で教材・動画の活用を！

担当 大田・永光



令和2年2月4日にスタートした福岡 TSUNAGARU Cloud (つながるクラウド) は御利用いただいているでしょうか？入口の設定など、様々な点で御尽力いただいた先生方、ありがとうございます。クラウドサービスは、インターネットにつながる環境と端末(PC, スマートフォン, タブレットなど)があれば、ファイルを見たり、編集したり、保存したりできるサービスです。

校種でICT環境の違いはありますが、**教材・動画をぜひ御活用ください。**

教えるということ

教育センター所長 梶原 由紀子

先日、初任者研修の修了式を行いました。式の最後に、これまでの3年間の研修を振り返って先生方に書いていただいた感想の中に、「教えるとはどういうことなのか、人を育てるとはどういうことなのか、改めて考えることができました。」と書かれた先生が数名いらっしゃいました。この感想を読んだ時、ふと頭に浮かんだのは、大村はま先生の言葉(書籍「教えるということ」)でした。



大村はま先生が偉大な教師であることは多くの人の知るところですが、だれにでも分かりやすく、そのとおりにすれば成功する、そんな具体性のある言葉で子どもたちに接してきたことがその背景にあると思います。そして、このような言葉に対する鋭敏な感性は、大村はま先生のお母様をはじめ周囲の大人たちが発してきた一言一言の言葉によって育てられ、磨かれたものに違いありません。

家庭、学校、社会一般において、「きちんとたみなさい」「しっかりたみなさい」といった雰囲気のある言葉が、無造作に使われているように思います。子どもたちを教導く立場にある大人が、「裾をつまんでやさしくたたんでごらん」のような、そのとおりにやればできるような具体性のある言葉、しかも温もりのある響きの言葉ですらっと言えば、子どもたちもすっと受け入れることなのでしょう。すぐにはできなくても、大人たちがそんな言葉を心がけていけば、子どもたちを目標とするところにもっと容易に導くことができるのではと思うのです。

「教えるということ」の後に、こう続きます。「『教え方』、『教え方』というが、『何』を教えるのか、その『何』がなければどう教えてもだめなのではないか」。

教育の大きな転換点を迎える今だからこそ、教育の根本にあるものを見直すことを大切にしていきたいと考えております。

教材共有サービス

- ICT環境整備が進む中で、先生方に便利に使っていただきたいサービス
- 先生が**自作教材を自分で登録**でき、登録された教材は**全市の先生が自由に活用**できる仕組み
- 登録された教材は**クラウド内で編集も可能**
- サービス開始時に応募されたワークシート等を約470本登録

動画配信サービス

- 児童生徒用の学習動画と教師用の研修動画を配信するサービス
- 児童生徒用の学習動画は、**授業のフンポイントとして使える2~7分程度**のものを、サービス開始時に25本配信
- 教師用の研修動画は、**授業改善のポイントや新時代の学びの在り方**などをショートコンテンツにして、サービス開始時に71本配信

ファイル共有サービス

- 来年度までに全ての学校に整備予定の**指導者用タブレット**、**パソコン室のPC**、**職員室のインターネット専用PC**から、教材を**アップロード・ダウンロード**したり**編集**したりできるサービス
- 学校からアップロードしておけば、自宅など学校外からも確認・編集可能
- 1週間で自動削除

まずは、クラウドへの入口設定を！

- 入口設定がまだの方は、早めの設定をお願いします。
- 校務用PC(職員室のPC)からクラウドへの入口は**SCVX**です。
- 教育用PC(指導者用タブレット・パソコン室のPC・職員室のインターネット専用PC)からクラウドへの入口は**FTCアイコン**です。

個人用スマホはQRコードで！



授業力向上支援センターから

授業力向上支援センター開室時間の変更について

令和元年

令和2年度～

変更前 開室時間 13:00~18:30 ⇒ 変更後 開室時間 **12:00~17:30**

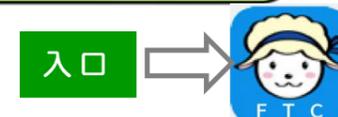
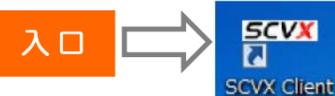
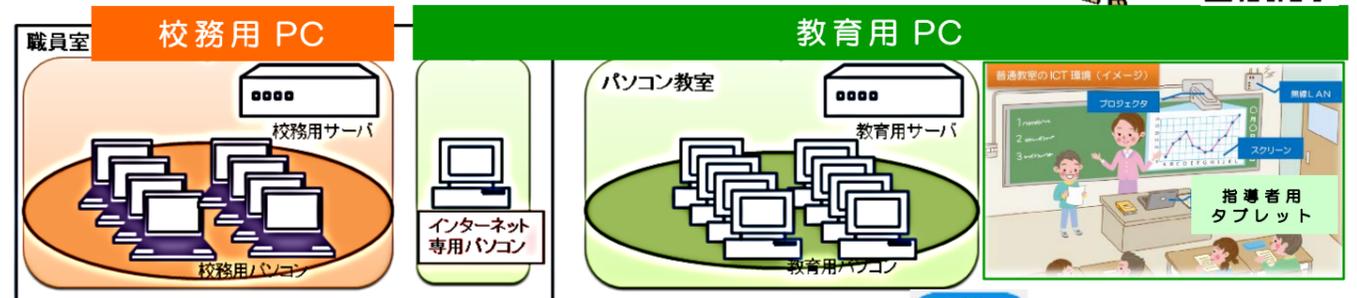
新刊図書の紹介



「特別の教科 道徳」が全面実施となり、教科書での授業が始まる中学校道徳の授業をフルサポートする1冊です。各社の新教科書に掲載されている教材を用いた授業事例を指導案&板書とともに35本収録。1~3学期で使える通知表記入文例付きでお届けします。



小学校プログラミング教育の考え方と留意点、教員研修の助所、プログラミングの考え方と中学校、高等学校への接続に向けてといった事前におきたい知識のほか、校内・地域や自治体における研修事例、教員研修に使える研修パッケージを解説・紹介します。



※ 詳しくは、2月4日付けインフォメーションアップのクラウド運用開始添付ファイル「教職員用チラシ」「概要」「利用ガイド」「FTC アイコン作成ツール・作成方法」を御覧ください。(スクールFネットにも上げています)

※ 「学校における情報機器及びネットワークの利用に関するガイドライン」(R1.11.1 教育政策課)もぜひ御参照ください。



利用方法と留意事項に関して、とても分かりやすいオンライン研修のコースがあります。ぜひ、早めの受講をお願いします。今すぐ、スクールFネットにアクセス！

